

## 別紙様式 2

## 令和4年度「レクリエーションの森」年間活動実績

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

## 1 施設等の整備等

番号	施設名	林小班	面積	工種	施設の概要	設置主体名	備考
1	白谷雲水峡 携帯トイレブース 目隠し板①	宮之浦嶽国有林 214い林小班	3㎡	新築	携帯トイレブース 目隠し板設置	屋久島レクリエーションの森 保護管理協議会	楠川歩道と奉行杉 コースの分岐
2	白谷雲水峡 携帯トイレブース 目隠し板②	宮之浦嶽国有林 101ほ2 林小班	3㎡	新築	携帯トイレブース 目隠し板設置	屋久島レクリエーションの森 保護管理協議会	辻の岩屋手前

## 2 森林の景観対策等

作業名	林小班	面積	作業の目的等	実施主体等
なし				

## 3 その他

安全対策	<p>① 新型コロナウイルス感染症拡散防止対策の励行。 (両地区管理棟に飛沫防止フィルム及び消毒液の設置、職員のマスク着等の励行等)</p> <p>② 協議会職員による巡視。(歩道・危険木・手摺り・ロープ等の安全点検並びに日誌への記載)</p> <p>③ 現地及び案内板に危険場所の明示。</p> <p>④ 入口で利用者への注意喚起。</p> <p>⑤ 危険木、倒木の措置。 ア、危険木、倒木の措置 処理 No.1・・・対象木(倒木)の場所 ; ヤクスギランド30分コース双子杉とくぐり杉の中間辺り歩道上 発見年月日 ; 令和4年5月18日 樹種 ; ヤマグルマ(倒木) 直径約 1m 措置日 ; 令和4年5月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.2・・・対象木(倒木)の場所 ; 白谷雲水峡奉行杉コース二代大杉より約150m先の歩道上 発見年月日 ; 令和4年7月26日 樹種 ; ハリギリ(倒木、枯木) 直径約1.2m 措置日 ; 令和4年8月3日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.3・・・対象木(倒木)の場所 ; ヤクスギランド30分コース双子杉近辺(台風14号被害) 発見年月日 ; 令和4年9月20日(18~19日台風14号接近) 措置日 ; 令和4年9月21~22日 樹種 ; ハリギリにヤマグルマが抱き着いた合体木(倒木) 直径約 1.8m 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.4・・・対象木(危険木、枯木)の場所 ; ヤクスギランド天文の森広場右側奥 発見年月日 ; 令和4年12月16日 樹種 ; ツガ(危険木、枯木) 直径約 80cm×3本 措置日 ; 令和5年3月3日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>イ、紀元杉幹ひび割れ部位保護ケーブリング取替。 処理日 ; 令和4年11月10日 請負者 ; 日本樹木医会鹿児島県支部</p> <p>⑥ 防犯カメラの作動(両地区入口、H28、1月~)</p> <p>⑦ AEDを両管理棟と白谷避難小屋に常設。 (ヤクスギランドH28.4~、白谷同年6月~、白谷避難小屋同年7月~)</p> <p>⑧ 事務所・両地区管理棟・白谷避難小屋間で交信できる無線の常設。 [ 事務所・白谷間の現在の通信システムH25.11月~、ヤクスギランド間の追加、R元7月~ 白谷避難小屋追加R3.7月~。 ※ システム名 ; 地域振興用陸上移動通信基地局通信システム ]</p> <p>⑨ ヤクスギランド森泉、白谷管理棟、白谷避難小屋に非常食・備蓄水の常設。 (3施設ともR元.9月~、各施設に非常食45食(5人×3食×3日)、備蓄水2ℓ×12本)</p>
受益者負担 の收受・活用	<p>① 收受 ; 英語版・韓国語版・中国語簡体字版・同繁体字版を含むリーフレットの配布。 絵葉書付きチケット(領収書兼用)の配布。</p> <p>② 活用 ; 遊歩道等施設の維持補修、リーフレットヤクスギランド日本語版印刷 10万部、 トイレの維持管理。(両地区トイレ及び同仮設トイレ)</p>
ソフト対策	<p>① 白谷避難小屋の維持管理及び同トイレし尿の搬出。(搬出回数 19回、総搬出量、5,200ℓ) (参考: 前年搬出回数 11回、同総搬出量 3,920ℓ)</p> <p>② ホームページの更新。(随時)</p> <p>③ 多言語おもてなしタグの常設。(ヤクスギランド、平成29年度園内36ヶ所の看板に設置)</p>

<p>その他特記</p> <p>すべき事項</p>	<p>① 歩道(登山道)の補修。</p> <p>② サポーター(アサヒビール(株))との共同ボランティア活動及び支援協定更新(15年)調印式の実施。 ア、支援協定更新調印式 令和4年11月25日、於;屋久島町役場会議室 イ、ボランティア活動 令和4年11月26日、於;白谷雲水峡弥生杉コース遊歩道 作業内容 ; 木道苔落とし 参加団体 8団体 参加者数 49名</p> <p>③ 屋久島山岳部保全利用協議会及び屋久島町エコツーリズム推進協議会との連携。 ア、白谷雲水峡から奥岳へ登山されるお客様に「世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の声掛けを行う。 イ、携帯トイレ普及の協力 → 白谷園内における携帯トイレ利用普及の推進。 (白谷にテント型携帯トイレブース2張設置。) I 白谷雲水峡管理棟 : 1個入18袋、2個入11袋。&lt;参考令和3年度1個入5袋、2個入6袋。&gt; II ヤクスギランド管理棟 : 1個入14袋、2個入70袋。&lt;参考令和3年度1個入4袋、2個入13袋。&gt;</p> <p>④ 職員の救命処置(心配蘇生法、AED)研修の実施。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。</p> <p>⑤ 両地区に仮設トイレの設置。(各3基、ヤクスギランドH30,3月～、白谷同年6月～)</p> <p>⑥ 図書「屋久島で使える手作り図鑑」の販売。(H29,4月～、R4年度販売数57冊) ア、ヤクスギランド売店での販売数 ; 38冊 イ、白谷雲水峡での販売数 ; 14冊 ウ、事務局での販売数 ; 5冊 エ、販売総数 ; 57冊</p> <p>⑦ 白谷避難小屋トイレの携帯トイレ試験運用の実施。 ア、試験運用実施日 ; 令和5年2月25～26日、於 ; 白谷避難小屋 イ、試験運用時に行った携帯トイレ普及・啓発の特例事項 ※ 携帯トイレについては、国立公園オフィシャルサポーター(株)総合サービスより300個の提供あり。 I 避難小屋の既存トイレを閉めて、小屋内にテント型携帯トイレブースとべ便座を男女各2セット設置。 II 携帯トイレ利用の呼び掛けと使用希望者に携帯トイレの無料配布。 III 携帯トイレ使用方法のレクチャー。 IV アンケート調査 ウ、携帯トイレ利用者数 2月25日(土)、入林者数 238名、小便利利用 77個、大便利利用 8個 計 85個、アンケート回答61。 2月26日(日)、入林者数 66名、小便利利用 10個、大便利利用 5個 計 15個、アンケート回答11 両日計、 入林者数 304名、小 87個、大 13個 総計 100個、アンケート回答72 エ、関係機関との打ち合わせ会等 I 第1回打合せ会 令和4年10月11日 於;役場議会第一委員会室 II 白谷携帯トイレブース設置ヶ所現地調査 ; 令和4年10月25日 III 第2回打合せ会 令和5年2月7日 於;役場会議室</p>
---------------------------	---